

▶ 中期ビジョン（中期経営計画）

Restart

— 新たな企業価値創造に向けて —

当社は2013年3月期を初年度とした5カ年の新中期ビジョンを策定しました。中期ビジョンのスローガンを「原点回帰」とし、オリンパス創業の原点に立ち返り再出発をすることで、ステークホルダーからの信頼を回復し、オリンパスの再生と、新たな企業価値の創造を目指します。

新経営体制の経営方針



経営方針に基づく基本戦略



評価指標と目標水準

評価指標	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (実績)	2017年3月期 (目標水準)
投下資本利益率 (ROIC)	2.7%	2.7%	10%以上
営業利益率	4.2%	4.7%	10%以上
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	△48億円	587億円	700億円以上
自己資本比率	4.6%	15.5%	30%以上

基本戦略遂行の成果を、「投下資本利益率 (ROIC)※」、「営業利益率」、「フリー・キャッシュ・フロー」、「自己資本比率」の4つの指標でモニタリングします。

※ 投下資本利益率 (ROIC) について
企業が事業に投じた資金が、どれだけ効率的に利益を上げているかを示す財務指標。利益が直接期待できない資産を取り除いてあるため、企業の本業の効率性をより正確に計測できます。当社では、以下の前提により算出しています。
Return (税引き後営業利益) ÷ IC (株主資本+有利子負債)

中期ビジョン1年目の成果と今後の課題

		成果・課題
1 事業ポートフォリオの再構築 経営資源の最適配分	医療事業 ▶ P.30	<p>計画を上回る進捗・業績を達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 消化器内視鏡分野：「EVIS EXERA III (欧米)」、「EVIS LUCERA ELITE (国内)」など新製品を全世界に投入、収益拡大に貢献 外科分野：新製品として、外科手術用内視鏡の「VISERA ELITE (欧米)」を投入 ソニー株式会社と業務提携し、「ソニー・オリンパスメディカルソリューションズ株式会社」を設立 経営資源の投入：主要生産拠点の生産能力増強
	ライフ・産業事業 ▶ P.38	<p>マクロ環境の悪化を踏まえた収益強化策を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 主力モデルの新製品を予定どおり投入 フィリピン工場の閉鎖や長野地域の製造拠点統合など、次期以降も見据えた製造拠点の合理化、事業効率向上を図る
	映像事業 ▶ P.42	<p>急激な市場変化への対応と収益構造の抜本改革を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品構成の見直し：ミラーレスなどの高付加価値製品へシフト 製造機能の再編 販売管理費の改善施策を実行
	非事業ドメインの整理	<p>計画を上回るスピードで非事業ドメインを整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報通信事業を売却 (2012年9月) 子会社・関係会社約30社を清算・売却
2 コスト構造の見直し	<p>一定の成果を収めるも間接部門のさらなる合理化の推進が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 製造拠点再編：全世界30拠点 → 22拠点へ集約 要員の最適化：目標を前倒しで進捗 → 約6,000人減少* (正社員・パートタイマーの合計)
3 財務の健全化	<p>経営基盤の安定化に向け前進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資本増強：ソニー株式会社と資本提携 自己資本比率：5% → 15%台へと改善* 有利子負債：820億円圧縮*
4 ガバナンスの再構築	<p>実効性を伴う体制をさらに強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 監督と執行を明確に分離した経営体制 2013年6月11日付で、「特設注意市場銘柄」の指定解除

※ 2012年3月末比

数値計画

	2015年3月期		2017年3月期	
	従来目標	修正目標	従来目標	修正目標
売上高	10,100億円	7,600億円	11,600億円	9,200億円
営業利益 (営業利益率)	900億円 9%	930億円 12%	1,300億円 11%	1,430億円 16%
経常利益 (経常利益率)	700億円 7%	700億円 9%	1,150億円 10%	1,250億円 14%
当期純利益 (当期純利益率)	400億円 4%	450億円 6%	850億円 7%	850億円 9%

(注) 従来の数値は2012年6月8日に発表した中期ビジョンの目標値、修正の数値は2013年5月15日に発表した修正後の目標値です。
従来の為替前提はUS\$=¥80、EUR=¥100でしたが、修正後の為替前提はUS\$=¥90、EUR=¥120です。